

大学案内  
GUIDANCE

学部・大学院  
ACADEMICS

入学案内  
ENTRANCE

国際交流・キャンパスライフ  
INTERNATIONAL EXCHANGE  
& CAMPUS LIFE

就職・キャリア  
RECRUITING

地域交流・公開講座  
LECTURE

図書館・施設・研究所  
LIBRARY & FACILITIES  
& LABORATORY



▶ 訪問者別ナビゲーション

受験生の方へ

オープンキャンパス・進学相談会の日程や各学部の入試概要等

在学生の方へ

課外活動・年間行事・生活支援について等

在学生の保護者の方へ

大学後援会・保護者との連絡会について等

卒業生の方へ

イベント情報・校友会・証明書申請等

企業・行政・研究者の方へ

求人のお申し込み・産官学連携について等

[ホーム](#) > [トピックス一覧](#) > [トピックス詳細](#)

## トピックス詳細

11月12日開催の等々力地区「防災塾」について、共通教育部岡山理香准教授にお話を伺いました

更新日：2014/12/26

「本学と地域との連携」という話題について、今回この「等々力防災塾」への参加窓口となっていた、共通教育部岡山理香准教授にお話を伺いました。

岡山准教授は、本学に近接する世田谷区立玉堤小学校の地域運営学校委員※を引き受けて現在3年目となり、「地域の連携」に対する大学の意義を意識しながら委員会の運営に協力しています。（※世田谷区教育委員会が主催する委員会であり親・地域の代表等で構成されており、岡山准教授は学識経験者枠の委員。）今回の「等々力防災塾」への参加ですが、岡山准教授が前述の委員会への日頃からの協力などが縁となり、等々力出張所から建築的な視点等も含めたワークショップを開催したいとの協力要請が受け、岡山准教授の講義等を受講する10名の学生とともにボランティアとして参加に至ったとのことです。



岡山准教授へのインタビューの様子

**Q. 「等々力防災塾」に参加され、全体的な感想を教えてください。**

地域の方は大学に対して、人的・施設的に期待していることがわかりました。「人的な期待」とは、平日の日中に災害などが発生した場合、ご高齢の方が在宅率が高いこともあり、学生たちの若い力に対する期待が高いようです。また大学の施設設備は、地域の中においても堅牢な場所という印象が強いことから、「避難場所としての期待」や、その組織的な防災の姿勢に期待が高いようです。

**Q. ワークショップの印象はいかがでしたか。**

10名程度で構成された4つのグループに、それぞれ2名~3名の本学学生が分かれて参加し、終了時に各グループの代表としてプレゼンテーションを行いました。各グループともに、大変まとまりのある良い発表ができたと思います。社会人に対してプレゼンテーションできる、良い機会でもありました。

**Q. ワークショップでのご講評について、教えてください。**

ワークショップを通し、地域から本学に対する期待の高さが良くわかりました。実際には、本学に出来ることと出来ないことはあると思いますが、地域に対し開かれた場所であることの意義などを感じました。東日本大震災などの災害時に、自発的に救助や避難誘導などに携わった多くの方が結果的に犠牲になってしまいました。こういった助け合いの心は貴重で大切ですが、災害に対し、もっと、機能的で確実な組織やバックアップ体制を整備し、誰もが誰をも助けられる仕組みを公的に作っていくべきではないでしょうか。任意の良心に頼らない社会的な仕組みを創り、ポテンシャルの高い人だけに負担がかからないようにしなければなりません。そのためにシステムチックにあらゆる想定と準備ができると良いと思います。以上のことを講評としてご参加の皆さんに伝えました。

**Q. 大学として「地域との連携」に参加する意義や今後の展望について、お考えをお聞かせください。**

本学も含め、地域にとって大学とは「研究機関であり教育機関」であることから、特別な施設として見られることが多いのですが、今後は大学が持つ多彩な資源を生かし、地域との連携をより一層推進し、地域や社会の貢献において、様々な可能性がある拠点であるということ伝えていくことが大事です。地域や社会人に向けた講座などを提供する機会を増やすことも、そういった契機になるのかもしれません。

本学には、放課後の小学校で行われているBOP事業（ポップ=Base Of Playing：遊びの基地）に参加し、子どもの創造性・自主性・社会性などの育成にボランティアとして参加している学生たちがいます。これは学生たちの中で受け継がれ、10年来続いているそうです。プールの監視員などの活動などにも積極的に参加している学生もいます。



このような見えない部分で進められてきた地域貢献や社会貢献を通じた意義や思いを、多くの学内関係者や学生さんたちに認知・理解されていくことを希望しますし、私自身も、今後も引き続き、今回のような取り組みを推進、サポートしていきたいと思っています。今回は防災ということがテーマで協力をしましたが、私は「建築の歴史」の研究を専門としていることもあり、現在進めている「尾山台周辺の住宅に関する調査」など学術的な研究が、地域に対して何らかの形で役立つことができたら幸いだと思っています。

**—ありがとうございました。**

[>> 11月12日開催の等々力地区「防災塾」に、本学の岡山准教授と本学学生10名が参加しました](#)

[トピックス一覧へ戻る >>](#)

[↑ ページ先頭へ戻る](#)